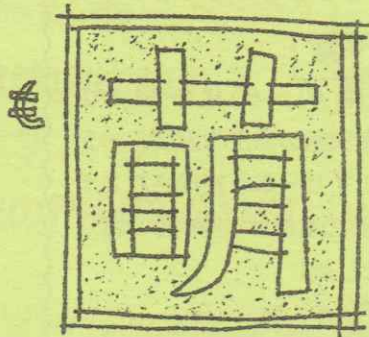




宮崎中学校区地域教育会議だより

第 18 号

宮崎中フェスティバル&あったかまつり開催！

今年で第 4 回となる当会議主催「あったかまつり」が、昨年に引きつづき宮崎中学校の「宮中フェスティバル」との共催で開催されました。たのしいステージや体験コーナー、軒を並べる模擬店、フリーマーケットなど、宮中グラウンドはにぎやかな熱気に包まれました。



あったかまつり



ありがとうございました

あったかまつり実行委員長 近藤 宣雄

当日はお天気が心配されましたが、最後まで雨粒が落ちることはなく、今までにもまして大成功のおまつりとなりました。たくさんの方々のご協力のおかげです。みなさん、本当にありがとうございました。



おまつり レポート

ステージでは、川崎北高の吹奏楽や宮崎中学校プラスバンドのほか、地域からいくつかの団体が出演しました。また、体験コーナーでは昔遊びやゲームなどで大人も子どもも楽しみました。にぎやかなおまつりの様子を、広報部記者二人が熱く、いや、「あったかく」レポートします！

次ページへ

宮崎中学校区地域教育会議は、川崎市教育委員会と川崎市地域教育会議推進協議会の委託事業です。「市民が自らの責任として教育を行うための自主的・民主的組織」であり、非営利、非宗教、非政党を旨とする団体として、平成 10 年度に発足しました。各学校の保護者・教職員・地域住民が参加し、地域の子育て、住民の生涯学習支援を目的とした活動をしています。

ロックソーラン

馬絹・小台子ども会のみなさん。2才の幼児から高校生までと、幅広い年齢層で活動されています。「寒かったけど、楽しくやれたよ!」



星の光合唱団

おそろいの赤いTシャツが目をひく男女混合の合唱団です。ソロで歌った男の子は、「2ヵ月半練習しました。緊張したけどうまくできました!」



宮前エイサー隊

メンバーは40～60代の10人の方々、宮前市民館の自主学習グループで知り合いエイサー隊を結成されたそうです。「衣装の着付けに時間がかかってたいへんでした」



大塚太鼓

「バチを回すのがむずかしかった」と、りりしい表情で答えたくれた男の子。入ってまだ2ヵ月という女の子は「緊張しないでできました」



パラパラ

平均年齢30才というみなさん、アンコールもかかるほど上手で楽しいダンスを見せて下さいました。「ダイエットにもなっているですよ」とのこと。なるほど、みなさんスタイル抜群でした。



体験コーナー



アート風船をもらって「うれしい〜!」と女の子。



ベーゴマコーナーを担当していたのは中学生の男の子。「ふだんベーゴマをやる人がいないので、今日は楽しい!」

丸太切りの平均は1分。やっぱり年配の方がお上手です。



竹とんぼは右きき用と左きき用で作り方がちがいます。「自分が作ったものを飛ばすのはたのしいね!」大人も真剣。

竹細工



連凧づくり。「手作りの凧がこんなに飛ぶなんて思わなかった!感動!」1年かけて地域の方が準備していらっしゃいます。



日本赤十字神奈川県支部のテントでは、クイズ形式で活動の紹介をされていました。

*他にも輪投げや羽子板、似顔絵コーナーがあり、どこも盛況でした。(取材:山田、三好)

*** あったかまつりに出演ご希望の方はお気軽に事務局までご連絡下さい。**

宮崎中学校区

町内・町会紹介

第1回

梶ヶ谷1丁目町内会

虎の門病院が目印、小さくて親密な町内会

町内会長

吉田知敬さん



1丁目のかなりの部分を虎の門病院が占めているため、会員の世帯数は120と、町内会としては小さい方です。「でも、その分、お互いの顔はよく知っていますよ」と、吉田さん。毎年夏には町内のみなさんと「パーベキュー」などを楽しまします。「1丁目恒例の夏祭りで、飲み放題食べ放題、子どもたちには、スイカ割りや、花火、流しそうめんやわたあめも人気です。毎年100人ほどの参加がありますよ」。12月には、2回目となる餅つき大会も行われました。なかなか親密な1丁目ですが、小さい町内会であることで少し困ることも。「たとえば、防災訓練などで人数を集めるのが大変です。皆さん忙しいなかで何とかやりくりして参加してもらっています」。防犯については、「毎年12月に、親睦をかねて1週間くらい町内の見回りをします。それから夜も道を暗くしないように全部の電柱に街灯を設置しています。街灯の数は自慢できますね」。「萌」については、「以前は（宮前区に比べて）高津区の方の情報があまり掲載されていなかったもので、その点、これからの活動に期待しています」とのこと。期待に応えられるようにがんばります。（取材：前田）

梶ヶ谷町内会

公園が二つも。緑ゆたかで静かな町内会

町内会長

田村克久さん



*梶ヶ谷町内会はどんな町内会ですか？

梶ヶ谷3、5、6丁目の約1550世帯が所属しています。高津区ではいち早く防犯パトロールを始めました。月2回、午後7～8時頃、防犯部が見回りをしています。また、この町内には梶ヶ谷第2、第3公園があり、環境整備を町内会で請け負い、会員からボランティアを募って清掃等を行っています。斜面のつくさ狩りはなかなか大変です。

*町内会でなにか困っていることは？

他の地区から時間外に大きなゴミを捨てに来る人がいたり、公園のトイレに落書きしたり、汚いまま放置するなど、モラルの低下に頭を悩ませています。張り紙をしたり、実際に注意したりして対応しています。

*今後に向けて、何かお考えは

昔の梶ヶ谷地区は、山や畑でした。いまでも平坦な部分が少なく住宅が建てづらいなどの難点もあり、このような点を見直し、もっと住みやすい町になるよう努めていけたらと思っています。（取材：三好、山田）

馬絹町内会

馬絹神社がある4千世帯の大所帯

町内会長

佐々木隆さん



馬絹町内会は、国道246号線と尻手黒川線が交差する大変交通量の多いところであり、また古くからの町会で、範囲も広く4千世帯を超える世帯数を抱えています。自慢は、地域の人たちが大変協力的でチームワークが良い所。また毎年10月15日に行われる馬絹神社のお祭りは盛大で、子どもたちが大人になってもいい思い出となっています。困っているところは、人口の増加に伴い、車が増える事による交通安全対策や、回覧が短期間に回らないこと、ゴミの出し方が少数ではあるが守られていないこと、マンション等が、町会に入っていない事などですが、これらの事は町会みんなで協力して対処していくとの事です。

防犯に関しては、11月に自主防災訓練を半日掛けて行つたこと。特に歳末警戒は、よい年を迎えられるようにと毎年実施しています。その他、昨今色々和痛ましい事件が起きているので、町会全体の防犯意識の高揚を、常に考えているとのことでした。お忙しい中、ありがとうございました。（取材：持田）

◎活動報告

地域情報交換会

10月2日(月)。宮崎中学校特別活動室にて。梶が谷貨物ターミナル駅高架下トンネルで起きた事件を受けて、町内・町会、学校、PTAの他近隣地域の指導員、補導員の方々にお集まりいただき、情報交換会を開催しました。

絵画教室開催「ぼくのわたしのすきなまち」

7月25日(火)と8月4日(金)に宮崎中学校特別活動室で、夏休み絵画教室を開催しました。未就学児から大人まで70名ほどの参加の中、「ぼくのわたしのすきなまち」という同じテーマの絵を描いてもらいました。なかなか描き出せなかった子ども先生や大人の人たちの声かけの中、作品を仕上げることができました。当日お手伝いいただいた地域の絵画教室の松下先生、宮崎中学校絵画部のみなさん、本当にありがとうございました。作品は、宮前区役所にて展示しました。(生涯委員会)



秋の工作教室



11月18日(土)宮崎中学校特別活動室にて。絵画教室に続いて、ふたたび松下先生をお招きして工作教室を開催しました。折り紙で作るパウのフーアレンジメント、段ボールを使ったコルクボードを作りました。大人30人、子ども60人ほどが参加。「子どもがご両親と一緒に楽しくものを作るところに意義があります」と松下先生。

パトロール

8月5日(土)。午後8時より、梶が谷第1公園、なかよし公園他8カ所を見回りました。(地域教育委員会)

◎インフォメーション

卒業式

宮崎中学校 3月9日(金)

宮崎、梶が谷、西梶が谷小学校 3月20日(火)



*宮崎中学校区地域教育会議では、随時、メンバーを募集しております。地域と子どもたちのことについて、いっしょに考えてみませんか。問い合わせ 宮崎小学校内地域教育会議事務局 044-866-2218/044-866-2217 富田

つうぐ

いじめと自殺

今年の中頃から、おきてはならないことが多発した。それは、子どもたちの中での「いじめ」と「自殺行為」である。

私の小学校時代にも「いじめ」はあった。いじめによりケンカとなり、取っ組み合いをしていると、おじさんが入ってきて仲直りをさせられた。相手が弱いとみると「いじめ」行為をし、いじめをした少年は「オレこそ強い者だ」と当時の少年たちは自負心を持ったようだが、相手を殺す行為はしなかった。ケンカの様子を親に話すと、当時の親は、大声を上げて「どっちも悪いんだ」と、叱りつけた。しかし、今の世代はちがう。

子どもは親に良いところばかりを見せつけようとするので、親は子どもの実態を知らずに誉めることばかりだ。叱ることも、叱り方も知らない親が多くなってしまった。これは少子化の時代だからか。

子どもは一人で生活はできない。子どもたちの集団の中で、それぞれの個性を伸ばしつつ成長してゆくものである。集団の中で成長ができない子どもは、一人で悩み、悩んでついに「自殺」に追い込まれてしまうのだろう。

子どもは子どもなりに胸を開いて語り合うことができるような友だちがいなくなっているのだろう。これを救うのは、最も身近に居る親であり、学校の先生、そして子どもの住む近所の人たちであろう。日本の未来を背負ってゆく今の子どもたちを健全に育てあげるように、日本全国の大人たちはしっかりした考えを持ち、強い力を発揮せねばならない時代であると思う。

(及川利男)

編集後記

インタビューにご協力頂いた町内会長さん方にお礼を申し上げます。いろいろ教えられること多でした。あったかまつり特集は、少しでも雰囲気伝わるといいのですが・・・。(前田)

企画・構成：宮崎中学校区地域教育会議 広報委員会

前田達彦 北原玲子 及川利男 鈴木栄子 持田正美 山田弘美 三好美佐江 斉藤重喜 渡辺正人
協力：梶ヶ谷小学校PTA

「萌」へのご意見、ご感想は、上記事務局またはEメール；tatsuno04510@yahoo.co.jp まで